



赤江地区のイチオシ!

広大な農地で生産される 自慢の農産物



▲赤江地区に広がる農地。ビニールハウスでは、ホウレンソウや小松菜、水菜、イチゴなどが栽培されています。
◀就農に向けて研修中の遠藤さん。安全安心なイチゴの生産に取り組みます。

赤江地区の飯梨川河川敷から東西を望むと広大な農地に立ち並ぶビニールハウスが目に入ります。「近年は、赤江地区での新規就農者が増えています。数年前には農業者で組織するグループもでき、さまざまな農産物が生産されていますよ」と赤江交流センターの勝部耕二館長は話します。

そんな赤江地区には今年の秋、さらに数人の新規就農者が誕生予定です。遠藤暢彦^{のちひろ}さんもそのうちの一人。「私は広島県から安来にタータンしました。数年前に島根県の農園を巡るツアーで安来のイチゴに出会いました。その時に、自分もおいしいイチゴを作りたいと思い、ここでの就農を決意しました」と思いを口にします。

現在は、JAしまねやすぎ地区本部担い手支援センターで研修中。9月からの就農に向けて実践研修を重ねています。

「市内の人だけでなく、市外の人にも安来のイチゴのおいしさを知ってもらいたいと思っています。就農後は多くの人に愛されるイチゴ農家になれると良いです」と遠藤さんは微笑みます。

農業で盛り上がる赤江地区に今後も注目です。

編集後記

安来市の人口と世帯数 R.3.4.30現在
人口合計 / 37,476人
(男:18,043人 女:19,433人)
世帯数 / 14,378世帯

▼今号から裏表紙の企画を変更。各地区イチオシのモノやコト、隠れたスポットなどを紹介します。自分のまちの良さを再発見したり興味を持ってもらったりしていただければ幸いです。紹介したものの他にも各地区の良さはたくさんあると思いますが、ピックアップしてお届けしますのでよろしく願います(旬)

▼今号で200号の節目を迎えた広報やすぎ。歴代の広報担当者が作ってきた広報紙を読み返してみると、自分の知らない市の魅力がまだまだあるなあと痛感しました。次の節目となる300号は8年後。今後も皆さんの協力をいただきながら、手にとってもらえる広報紙を1号ずつ積み上げていきます(一)

